

情勢報告（平成27年11月分）

中央西農業振興センター高吾農業改良普及所

越知町でミシマサイコ現地検討会を開催



現地ほ場で生育状況をみながら情報交換

10月26日、越知町内の（農）ヒューマンライフ土佐組合員ほ場でミシマサイコ現地検討会が開催され、県内各地から生産者や関係機関など28名が参加し、生育状況や栽培管理について情報交換を行いました。

普及所からは平成28年から導入が検討されている新品種の品種特性試験や収量向上を目的とした摘心管理の実証試験について紹介し、その後、管内の高収量農家のほ場を巡回しました。参加者からは「新品種と慣行品種では主茎の伸び方が違うのが分かる」「摘心のタイミングが増収のコツではないか」などの意見がありました。

普及所では今後、試験結果や高収量農家の栽培技術をもとに技術的な課題を整理し、収量向上技術の体系化と普及を図っていきます。

佐川町「お山の茶 明郷園」の紅茶が高知市のホテル「城西館」で12月から販売が決定



牛乳や砂糖を加えた「紅」の試飲などプレゼンテーションを実施

11月5日、高知市のホテル城西館において、佐川町の「お山の茶 明郷園」が生産・販売する紅茶「紅(べに)」のホテルでの提供方法について提案を行いました。この活動は6次産業化推進事業により進めており、当日は、城西館の物販担当者2名、明郷園3名、アドバイザー、地域農業推進課、高吾農改が参加しました。喫茶ではミルクとして低温殺菌牛乳を使うと、味がまろやかで、より美味しくなることを試飲により確認し、この方法で提供することになりました。また、12月上旬には城西館の顧客らを対象に紅茶セミナーを開催し、「紅」のお披露目後、喫茶や土産物コーナーで販売することが決まりました。

当普及所では、今後も関係機関やアドバイザーと連携しながら、お山の茶明郷園の販売促進活動を支援していきます。

佐川町加茂地区で集落営農への取り組みに向けた集落座談会を開催



集落営農の取り組みについて、事例紹介や補助事業について説明を実施

10月29日、佐川町加茂住民センターに於いて、「加茂地区環境を守る会」主催で集落営農についての座談会を開催しました。地区では、従来から加茂地区集落活動センターとして農地をどう守っていくか、話し合っていました。幅広い住民の合意形成が必要との観点から、耕作者、地権者合計84名を対象とした座談会を開催しました。

当日は12名の参加でしたが、組織設立後の具体的な経営についてまで話が及び、次回には経営事例を中心に話し合うこととなりました。

普及所では今後も県内外の事例紹介や経営シミュレーションなどの情報提供や集落の意向把握等を行い、地域の取り組みに協力していきます。

今年も J A コスモスから高糖度トマト「シュガートマト」の出荷開始



いい色加減になってきました

11月5日から J A コスモス日高支所出荷場で、「シュガートマト」(促成高糖度トマト)の出荷が始まりました。

普及所では、土壌分析や植物体中の硝酸イオン濃度について、定植した8月上旬～9月上旬から定期的に調査し、その結果を基に施肥管理へのアドバイスをを行っています。生産者が順調に施肥の調整ができたこと、天候にも恵まれたことで、果実糖度は目標値(7.3度)以上に高く、今作の高糖度トマト生産に向け、幸先の良い状況となっています。

気温の低下とともに灰色かび病や裂果などの生理的な障害の発生が問題となる時期になってきたことから、今後、施肥管理と共に病害や生理障害等への対応について支援していきます。